

土木学会四国支部「土木紀行」No.58高知県)

「宿毛湾港」

高知県宿毛市には、高知県の重要港湾の一つである宿毛湾港がある。写真1に宿毛湾港全体の航空写真を示す¹⁾。写真内には、特に主要な2つの地区を示す。

宿毛湾港は、水深が深いことなど港湾としての自然条件に恵まれた高知県西南部の宿毛湾奥部にある。静穏な海域を有する立地条件を活かし古くから天然の良港として、水産品の流通拠点や木材の積出基地の機能を果たしてきた。加えて、昭和46年の定期フェリー航路の開設により、九州との窓口機能を果たすなど、地域経済を支える港として発展してきた。このように、九州と四国との連携拠点としての機能に加え、平地が乏しく交通体系の整備が立ち遅れているため産業の発展が遅れていた四国西南地域の振興を担うべく、昭和61年6月に重要港湾に指定され、同10月には地域産業開発港湾として、外内貿易埠頭の整備、新規産業立地のための工業用地の造成を基本とする新規の港湾計画を策定した。その後、池島地区を中心に整備が進められ、平成12年12月には、水深13m外貿埠頭を水深10mで暫定供用するとともに、平成13年度からは背後の工業用地の第1期分譲を開始している²⁾。宿毛湾港は、四国西南端に位置し、年間を通じて温暖多雨な南海型気候に属している³⁾。池島地区では、図1に示すように第一及び第二防波堤からなる全長680mの防波堤が計画されており、現在は、写真2に示すように第一防波堤(300m)が完成している。さらに、第二防波堤(380m)も建設が予定されている。写真3は、防波堤となる巨大ケーソンである。



写真1 宿毛湾港の航空写真¹⁾



写真2 池島地区第一防波堤



写真3 巨大ケーソン(施工中)

写真3は、防波堤となる巨大ケーソンである。

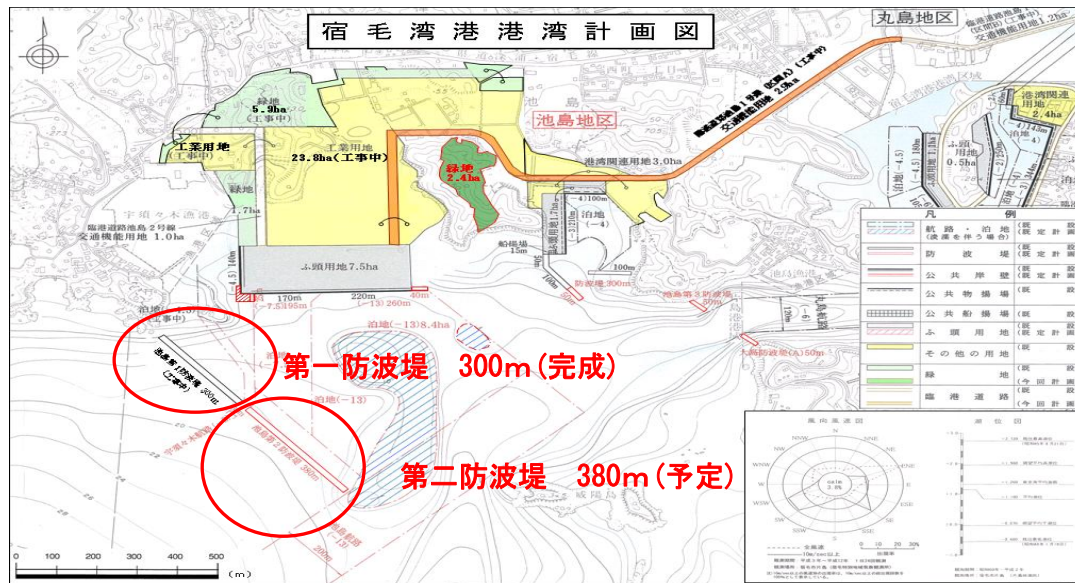


図1 宿毛湾港池島地区港湾計画図⁴⁾

宿毛港湾の主要計画は、以下の通りである⁵⁾。

(1) 四国と九州を結ぶ産業の支援港の形成

- ・池島地区：フェリー中継基地の形成、佐伯～宿毛間既存フェリーと宿毛～高知・大阪間新規フェリーとの連携
- ・池島地区：生産流通拠点の形成、工業団地への養殖飼料や資源循環型産業の立地と物流拠点の形成

(2) 観光レクリエーション・防災拠点の形成

- ・片島地区：再開発による交流拠点形成、観光や海洋レジャー基地機能の強化と防災拠点の形成
- ・池島地区：大型旅客船寄港への対応

最後に、東日本大震災の教訓を活かし、きたる南海地震にむけての港湾の整備、特に第二防波堤の完成を急いでほしいと思う。また、観光等の面では、宿毛湾港で水揚げされる魚は格別です。一度、宿毛湾港を訪れて、味わってみてください。

参考文献

- 1) 四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所 宿毛湾港 www.pa.skr.mlit.go.jp/kouchi/
- 2) 港湾事業関係について www.pref.kochi.lg.jp/uploaded/attachment/1471.pdf
- 3) みなとオアシス宿毛 自然条件 www.sukumobay.com/o/gaikyou/gaikyou.htm
- 4) 宿毛湾港港湾計画図 池島地区 www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/175001/f-1.html
- 5) 宿毛湾港港湾計画の概要 www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/175001/f-0.html

(高知高専専攻科 建設工学専攻 1年 三浦健太)